



～地元小学生が書体原案を作成～

平成21年度中に完成予定の「新旅足橋」*1と「杣沢橋」*1、それぞれの橋の高欄*2に設置される橋銘板*3の書体原案を、八百津町内の小学校児童のみなさんをお願いして作成していただきました。

合計164点ものすばらしい作品が集まり、平成20年10月に選定会が行われ次のとおり6書体の原案が決定しました

*1 橋の名前は、八百津町にて決めていただきました。

*2 高欄とは、橋から車や人が落ちるのを防ぐ柵のことです。

*3 橋銘板とは、橋の名前などを記した金属の板のことです

字 体	原案者名	学校名・学年	字 体	原案者名	学校名・学年
新旅足橋	伊藤 翼さん	和知小 6年	杣沢橋	山田 さくらさん	福地小 5年
しんたびそこ橋	瀬瀬 良夢さん	八百津小 6年	そまざわ橋	岩井 蛍さん	錦津小 4年
しんたびそこばし	林 涼加さん	潮見小 6年	そまざわばし	大脇 大地さん	潮見小 6年

感謝状を贈呈

1月には橋銘板が完成し、選ばれた生徒さんの各小学校（*瀬瀬良夢さんは転校されたため教育委員会に贈呈を依頼）にお伺いして感謝状をお渡しするとともに、本物の銘板を見ていただきました。

銘板を自分の手で持ち上げた生徒さんたちは、その重さにとっても驚いた様子でした。「この銘板はいつまでも残るから、あなたのお孫さんにだって見てもらえるよ」と言われてニッコリと微笑んでいました。

地元のみなさんに愛される橋となり、大切に使用していただけることを心より願っています。

(詳細はこちらからどうぞ：http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/18_comunication-new081007/index.html)



先生の手作りくす玉で祝福（潮見小学校）

橋面上で「連結式」

3月24日、前日からの強風も治まり、穏やかな晴天のもと、新旅足橋の「連結式」が行われました。

これは、2本の橋脚から張り出してきた橋桁が無事に中央部分で連結されたことを祝い、請負業者が挙行了したものです。

供用に向けて期待の声

八百津町長を始め、議長、議員、近隣の自治会長、及び新丸山ダム工事事務所長などが来賓として招かれ、総勢50名ほどの列席者のもと、厳かに神事が執り行われました。

挨拶では、八百津町長が「開通まであと一歩、少しでも早い供用を願っています。」と期待を述べ、新丸山ダム工事事務所長は「利便性がよくなり地域の発展に貢献するものと思っています。」とこの橋のもつ役割を語りました。



「連結の儀」を執り行う八百津町長（橋面上に張られたテントの中で）